

会 議 録

会議 名	令和 5 年度第 3 回小金井市市民協働推進委員会
事務局	市民部 コミュニティ文化課
開催日 時	令和 6 年 2 月 7 日（水） 1 8 時 3 0 分～ 2 0 時 3 0 分
開催場 所	市役所西庁舎 2 階 第 5 会議室
出席委 員	田中敬文 委員長 邦永洋子 副委員長 橋本 修 委員 森田真希 委員 熊谷紀良 委員 西田 剛 委員
欠席委 員	な し
事務局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化課文化推進係長 津端友佳理 コミュニティ文化課文化推進係主任 武田麗子 コミュニティ文化課文化推進係主事 佐原涼太 2 小金井市市民協働支援センター準備室 北脇 市民協働推進員
傍聴の可 否	一部不可

傍聴不可・一部不可の場合は、その理由	一部不可 (協働事業提案制度に関する議題のため)	傍聴者数	1 人
会議次 第	(1) 協働理解促進研修について (2) 令和 5 年度実施協働事業提案制度について (3) 令和 6 年度実施協働事業提案制度について (4) その他		
会議結 果	別紙のとおり		
会議要 旨	別紙のとおり		
提出資 料	(1) 協働研修のチラシ (2) 「小金井国際支援協会」のチラシ、資料 「はけの手アニメーション」のチラシ (3) 「令和 6 年度実施協働事業提案制度 募集要項」及び提案一覧 「小金井市協働講演会」チラシ (アンケート含む)		

【田中委員長】 皆さん、どうもこんばんは。少し御無沙汰しておりました。

ただいまから令和 5 年度第 3 回小金井市市民協働推進委員会を開会いたします。

本日の会議は傍聴可能となっておりますが、令和 6 年度実施協働事業提案制度に関する議題については非公開となります。

それでは、まず配付資料の確認を事務局からお願いいたします。

【事務局】 事務局です。それでは、資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料は、次第を除いて5点になります。まず、次第1で御報告させていただきます、協働研修のチラシになります。次に、次第2で御説明いたします、小金井国際支援協会さんのチラシ及びクリップ留めの一式の資料と、はけの手アニメーションさんのチラシです。次に、次第3で使用いたします、クリップ留めの令和6年度実施の協働事業提案制度の募集要項及び提案一覧です。その他、小金井市協働講演会チラシ（アンケートを含む）の以上5点になります。

お手元にはない方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

【田中委員長】 よろしいでしょうか。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず、次第1「協働理解促進研修について」です。事務局から御報告をお願いいたします。

【事務局】 事務局です。

令和4年度に引き続きまして、庁内の職員向けに協働理解促進研修を実施いたします。チラシを御覧ください。2月28日に係長職者向けと正規職員向けの2つの研修を予定しております。係長職者向けにつきましては「行政提案型協働事業とは」をテーマに、正規職員向けは「対話ですすめる場づくり」をテーマに研修を実施する予定です。

さらに今年度から、昨年度のNPO派遣研修を修了した職員を対象に、3月14日に派遣研修の振り返りを兼ねて「協働のポイントを職場に戻って説明できるようになる」をテーマに研修を実施いたします。NPO派遣研修を通じて経験したことを踏まえて、協働

のメリットや課題、感じたことを職場で共有できるような研修内容となればと考えております。

報告は以上になります。

【田中委員長】 どうもありがとうございます。

次第1「協働理解促進研修について」、委員の皆様から、何か御質問ございますでしょうか。

1つよろしいでしょうか。2月28日は、係長さん向けの研修ということです。それから、3月14日は、実際に派遣研修を修了した職員ですから3年目とか4年目ぐらいの方でしょうか、2つ研修をなさることは大変いいことだと思うんですが、その派遣研修を修了した職員の若手の方と、2月28日の係長職さんの出会いの場みたいなのはあるんですか。全く別々のものなのでしょうか。

【事務局】 今回の研修に関しては別々で企画していて、出会いの場というのと、その研修を受けた人たち同士が。

【田中委員長】 もちろん研修を受けた人同士で話をして理解も必要だと思うんですが、その結果を、せっかくの機会ですから、その研修を受けた係長さんに状況を知ってもらえれば、こういうことをやって、こんなによく分かってもらったんだということが係長さんに分かるといいかなと思っているんですが、いかがでしょうか。

【事務局】 ありがとうございます。また、来年度以降の研修でも参考にさせていただきたいなと思います。

【田中委員長】 小金井市独自の試みである、この研修はいいことをやっていると思う

ので、それをぜひ生かしていただければ。

【事務局】 ありがとうございます。

【田中委員長】 ほかの市の手本になるようにやっていただければと思っているところ
です。

ほかに委員の皆様、いかがでしょう。

【熊谷委員】 これは、受入先のNPOのほうには何か、後で返ってくるとかいうよう
なことはあるんですか。その場にはいらっしゃらないんですよね。

【事務局】 今回、2月の来週、ちょうどNPOの派遣の報告会というのをやる予定に
なっていて、その場では受け入れてくださったNPOさんも来ていただいて、一緒に
共有するということにはなっているんですけども、今回は終わった後のフォローアップ
研修という形で、行った方のみの研修にはなっています。

【熊谷委員】 そちらの、前のほうの研修ではリフレクションというか、返ってきた方
が、受けられるメリットみたいなものも返ってくるとのことですよね。分かりました。

【田中委員長】 ほかにはよろしいでしょうか。どうぞ、橋本委員。

【橋本委員】 研修のゴールというのがあって、例えば上のほうの、提案する人への心
配事の橋渡しをしているというゴールがあるんですね。これは研修したので、何か研修の
成果というかアンケートというか、そういうことを取って、解消しましたというような、
そういうことを確認されるんですか。

【事務局】 実は、②の「対話ですすめる場づくり」というのは、去年も同じ内容で実
施したんですけど、すごく高評価だったので、今年も同じテーマで、まだ未受講の方にゼ

ひ受講していただきたいなということでやったんですけれども、去年の研修のときには、そのようにアンケートで、自分がやりたいファシリテーションは何ですかというのを質問にして、そこに答えを書いてもらおうというふうにして、最後に、心にとどめて帰っていただけたらなと思っています。

【橋本委員】 分かりました。定量的なゴールというのが8割とか1つとかあったので、そういうところはどうやって評価するのかなと思ったので。大丈夫です。

【田中委員長】 ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、次第に沿いまして、次の2番へ進めさせていただきます。次第2「令和5年度実施協働事業提案制度について」、まずは、事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】 事務局です。

令和5年度実施の協働事業提案制度について御報告いたします。令和5年度から、市民提案型協働事業と新設の行政提案型協働事業を実施するため、100万円の予算措置がされており、そのため、市民提案型については1件、行政提案型も1件について、令和5年9月に採択いたしました。

採択事業の進捗状況について御報告いたします。初めに、市民提案型協働事業、こちらのチラシの「多文化共生に向けて・外国ルーツの子どもの教育支援」についてです。こちらは小金井国際支援協会（KISSA）さんの提案事業となっております。学務課、児童青少年課、コミュニティ文化課が担当課となりまして、学校ガイドの英語版と中国語版の作成や、シンポジウム開催に係る内容となっております。現在、学校ガイドにつきましては、担当課の学務課、児童青少年課と連携しながら進めているところと聞いております。

今後、入学準備相談会などの実施も予定しているとのことです。

次に、シンポジウムについてです。チラシを御覧ください。令和6年1月6日に市民会館萌え木ホールにて「外国ルーツの子どもの教育支援」をテーマとして、東京学芸大学名誉教授の佐藤郡衛先生をお招きし、基調講演を行いました。そのほか「やさしい日本語」ワークショップなども実施いたしました。当初は定員を50名と見込んでおりましたけれども、申込みが多数になりまして、最終的には64名の方に御参加いただきました。約3時間という長時間の講演会でしたが、大勢の方に御参加いただき、かなり盛り上がったシンポジウムになったかと思います。

続きまして、行政提案型協働事業になります。こちらは「小金井魅力発見！市歌『光さす野辺』みんなで作ろうミュージックビデオ！」についてになります。こちらは、はけの手アニメーションさんの提案事業となります。企画政策課が担当課として、市民参加型でアニメーションのミュージックビデオ制作や作成に係るワークショップなどの開催を行う協働事業になっております。

こちらのチラシを御覧ください。2024年1月中旬に市歌「光さす野辺」の歌詞ムービー公開とありますが、こちらは1月31日に市ホームページにアップされております。未完成版ではございますが、ぜひ御覧ください。次に、今月の3日と4日、小金井宮地楽器ホールにてワークショップを開催いたしました。土曜日、日曜日の2日間合わせて300点以上、お子さん方が集まって絵を描いてくださりまして、素材として集めることができました。今後も、ミュージックビデオの素材として、ぬりえワークショップを開催予定となっております。また、こちらの協働提案は2か年の事業となっております、次年度

の夏頃にミュージックビデオの完成披露上映会を予定しております。

以上が令和５年度実施協働事業提案制度の報告となります。皆様から御感想、御意見があればお伺いしたいと思います。お願いいたします。

【田中委員長】 御報告ありがとうございます。

それでは、委員の皆様、ただいまの事業につきまして、御意見、御感想がありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。

【森田委員】 外国ルーツの子供の教育のK I S S Aの方からも、まさか定員オーバーになるまで申込みがあるとは思わなくて、本当に手を挙げてよかったということを伺いました。

あとは、「光さす野辺」のチームも、そこまでやるのだろうかというぐらいに準備に時間をかけていて、チラシも、うちでも配付をしたりとか、あと、子供たちにも声をかけて参加をして、みんな、すごく楽しかったというふうに言っていました。ただ、予算以上の力を注がれている様子を見て、何か……。なのに、この団体の一人一人には、このペイがないというのは、何とも「ああ……」と思いながら、今の準備の話を聞いております。

以上です。

【田中委員長】 ありがとうございます。どうぞ、お願いします。

【邦永副委員長】 外国にルーツのある子供の教育の振興事業に参加させていただきました。認識していなかったわけじゃないんですけれども、現状をととてもよく理解できたというか、自分が思っていたよりも本当に必要な事業だということが、今回、佐藤郡衛先生のお話を聞いても分かりましたし、実際に「やさしい日本語」というワークショップで

は、グループになって、どう変換したらいいかということを考えて、伝えるということとか、自分が理解していないこととかがはっきりして、すごくためになったシンポジウムだった。皆さん、すごく関心が高いということも、非常に興味深いというか、びっくりしました。

一方という言い方はあれなんですけれども、私、すごくうっかりしていたんですけど、あんまり自分の中に情報が入ってなくて、「参加したかった」、「参加したかったんだけど」と。

【森田委員】 結構、このチラシが上がってくるのも、ぎりぎり。

【邦永副委員長】 そうなんだ。全然、うちのところにも来なかったのは、すごく残念です。でも、出来上がりがすごく楽しみです。

以上です。

【田中委員長】 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。どうぞ、委員。

【熊谷委員】 実は小金井国際支援協会が少し、今、東京都域で、つながり創生財団という財団ができていて、国際交流協会のいわゆる広域の協会なんですけれども、そこと、うちも一緒にやっていることがあって、中域で少しネットワークをつくるということで、小金井とその周辺、三鷹とか武蔵野も入れてですけれども、やっぱり国際交流協会のあるところとか行政の方々が御一緒に少しネットワークをつくって支援をしていこうということで、小金井からは、多分、K I S S Aさんが出られていると思うんですけれども、そういう意味で、こういうのをきっかけに、またこれからもやっていかれるだろうなという

期待をすごく、このシンポジウムに、これだけの方が参加されたことについてお聞きして
いて思ったんです。多分、そういう意味では、協働事業をやって、その後、また関係をど
うつくりながら、公的な形での支援と結びついて協働していくのかということ、小金井
だけじゃなくて周辺市も一緒に手をつなぎながらできそうな予感がすごくしています。そ
ういう意味では、多分、実際にこれをやってみて、またどうしたいかというところをお聞
きできて、それを応援できたらいいなと思いました。

ミュージックビデオも、そうですね。本当に、ふれあいメロディーの話ですとか、い
ろいろと最初に出されたところから、すごく広がっているなと感じていて、これも楽しみ
なんですけれども、これも、まさに歌詞をつくられて普及していくという作業、方法とい
うのがずっと続いていくところだと思いますので、今回、テーマが1つ、提案が2つに
なってよかったなということと、すごく成果があったということ、どう伝えていきなが
ら、協働でやったものがその後続いていくかなというのも考えてやっていけるような段階
になったのかなと、お聞きしていて思いました。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょうか。

【橋本委員】 ミュージックビデオですけれども、これから、どんどん発信していかな
いということだと思うんですけれども、このチラシの時点では、Y o u T u b e の公開
予定であるとか、3月の予定とか、そのような予定を書いているんですけれども、これも
順次着実に進んでいるということで。

【事務局】 順次進んでおります。

【橋本委員】 せっかくいいものをつくったので、どんどん発信していけばいいです

よね。

【事務局】 はい。

【邦永副委員長】 LINEとか、ツイッターとかで。インスタでも上がっているんですか。

【森田委員】 インスタで結構上がっている。

【邦永副委員長】 小金井市のものですか。

【森田委員】 はけの手で。

【邦永副委員長】 市もLINEを始めたりとかしているから、そうしたところで、どんどん発信したらいいなと思いました。

【森田委員】 そうね、リンク。一人一人がすごくプロフェッショナルな人たちの集団だから、「え、こんな」と思っちゃう。その後、ここの団体が、そもそもこの事業自体は、これをきっかけにして発展していくということでもあるし、あと、KISSAさんのことも、このシンポジウムでも話を聞いていると、やっぱりKISSA自体も、活動していて、まさかこんなにたくさん興味を持っている人がいるとは思わなかったと言っていたので、意識の掘り起こしということのきっかけになったというのがとてもよかったんじゃないかなと思いました。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょうか。

そうしましたら、ただいま出ました御意見、御感想をぜひ今後の活動の参考にしていただければと思います。

【熊谷委員】 あと、よろしいですか。ガイドブックのほうは、もうすぐという感じで

すか。こちらのガイドブックのほうは進捗は。

【事務局】 ガイドブックは、来月ですよ。

【熊谷委員】 来月ぐらいですかね。また、その反応とかも聞きたいですよ。一応、1月中旬の完成と書いてあったので、もう少しかななんて思って伺いました。

【事務局】 確かにそうですね、来月です。今月中にはできるのかな。

【熊谷委員】 分かりました。また、ぜひ、できたら拝見させていただこうと思って。

【田中委員長】 では、そのガイドブックの完成もお待ちしています。よろしいでしょうか。

それでは、次第の3番、令和6年度実施協働事業提案制度ですが、この議題につきましては、非公開ということになります。

（傍聴者退席）

ここから、協働事業提案制度の内容にかかるため非公開

— 了 —